

# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2016.4 April vol.34-2

## 二月定例議会

### 会派を代表して質問

2月18日から3月16日まで

アベノミクス効果はなし

の28日間、二月定例議会が開かれました。今回の議会では、28年度予算や二月補正予算、法令等の改正による条例改正案など83件が提案され、すべて可決しました。

知事に安倍政権の経済政策について問いましたが、知事も「島根では中小企業が多く、その効果は実感できない」と答弁しています。今、安倍首相は消費税の増税延期も匂わしています。そのことこそが、安倍政権が、そのことこそが、安倍政権

代表して質問に立ちました。

今回、私は民主市民クラブを代表して質問に立ちました。

ましたが、実際は目標として定められている3割も難しい状況で、「島根県職員における女性管理職の登用目標値は12%程度となる」と知事は答弁しています。

### 島根県民が主体となる政治に

### アベノミクスは島根の経済には効果なし

の経済政策（アベノミクス）の失敗を示しています

処遇改善による

保育士の確保対策

すし、円安による輸入品の値上がりや生活物資の値上げにつながり、賃金の上昇も追いつかず、実質賃金は4年連続下がっています。

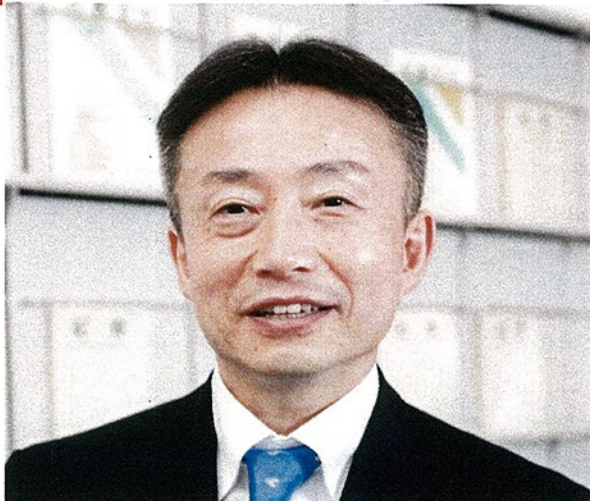
保育所や児童クラブの待機児童問題は、施設の定員の確保もありませんが、それ以上に深刻なものが保育士や支援員の確保です。勤務環境や賃金、労働条件の問題など改善の必要な問題もあり、保育士さんや支援員さん

### 女性の活躍推進

昨年女性活躍推進法の成立し、各事業者は目標値を定めて女性の登用を進めることとなり

の働く意欲を低下させています。保育士さんたちの処遇の改善が求められています。

（裏へ続く）



### 住民目線で政治を変える

国から降りてくる政治ではなく、住民から始める政治を目指そうと、「住民目線で政治を変える会・山陰」の代表である福島浩彦さんが、来る参議院選挙に島根・鳥取選挙区から出馬することを表明されました。

福島さんは、改革派の市長として我孫子市長を3期務められたほか、2010年から2年間消費者庁長官を務められました。この経験を生かし、住民主体の政治の実現をめざして参議院議員選挙に挑戦されます。民進党も福島浩彦さんを支援することを決定しましたので、皆様のご支援をお願いいたします。

年度中途の入所にも備えた保の答弁がありました。また、保の経営者と連携し、保育士の必要ですが、様々な事情によつてそれができず、出生届けが出されず、生まれてきた子が無戸籍になることとなります。井戸さんによれば無戸籍者は推定1万人はいると言われます。

この問題を多くの皆さんに知っていただき、解決の道が開かれることを期待しています。

### 当事者に聞いてほしい

3月20日、大阪市立大学都市文化研究センター研究員の秋風千恵さんによる講演「障がい女性の生きづらさから平等社会実現に向けて」を聴きました。秋風さんは四肢に障がいがありますが、日常的には介助なしで生活しています。しかし、そういった中で配慮のない扱いを受けてきたこともたくさんあり、社会が変わらなければならぬと痛切に感じ、平等社会の実現を求めてこられました。



平等社会の実現をと講演される秋風さん

## 一人ひとりが尊重され大切にされる社会に 日本人の無戸籍問題、障がい者差別解消について考える

3月12日に開いた後援会総会では、「無戸籍の日本人」の著者井戸まさえさんを招き、講演会を行いました。

井戸まさえさんは、元衆議院議員でライフワークとしている無戸籍者支援のため、民法改正などに取り組まれました。今も衆議院議員への復活を目指して活動を続けられるとともに、無戸籍者の支援活動を続けておられます。

無戸籍者の現状について講演する井戸さん

3月20日、大阪市立大学都市文化研究センター研究員の秋風千恵さんによる講演「障がい女性の生きづらさから平等社会実現に向けて」を聴きました。秋風さんは四肢に障がいがありますが、日常的には介助なしで生活しています。しかし、そういった中で配慮のない扱いを受けてきたこともたくさんあり、社会が変わらなければならぬと痛切に感じ、平等社会の実現を求めてこられました。

「障がい者差別解消法」が今年4月から施行されますが、まだまだ周囲の善意による配慮が先行していて、障がい者の権利に至っていないのが現状だと指摘されました。「大事なことは障がい当事者にどうしてほしいか聞くことだ」と指摘されましたが、秋風さんの体験を通して語られると、私自身も良かれと思っただけでいることがあるなど反省する部分もありました。

まずは、障がい当事者と語りあうこと、障がいがある人が困っていたら、どうしてあげればよいか聞くことです。人それぞれに個性があるように、それぞれに困っていることは違うということを頭に置きながら、より良い社会ができていくよう、みんなので取り組みましょう。